施工状況報告書【竣工時】

建設住宅性能評価の申請を行うにあたり、施工状況報告書を提出します。
この施工状況報告書に記載する内容は、事実に相違ありません。

【共同住宅等用】　　**※太枠部分を記入してください**

建築物の名称	
建築物の所在地	
工事施工者	住所 氏名又は名称 電話番号

検査年月日	年　　月　　日
施工(管理)者署名	(会社名及び氏名)
評価員署名	

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住棟評価用　　**※の欄を施工管理者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
1　構造の安定に関すること									
1-3 その他	免震建築物	□　有	□　免震層伏図 □　施工計画書 □　施工結果報告書 □　管理計画（案） □　工事写真	□　免震層 □　免震材料 □　上部構造 □　下部構造 □　落下・挟まれ防止等 □　免震建築物であること等の表示 □　管理に関する計画	□ □ □ □ □ □ 	 	□ □ □ □ □ □ □	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。

＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。

＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住棟評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

	性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	B	C	判定結果 一次	二次
2 火災時の安全に関すること										
火災時の安全	耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部）） □ 該当なし	開口部の耐火性能	□ 有	□ 施工図 □ 認定書	□ サッシ・ガラス・換気開口部の種類	□		□	適・不適	適・不適

＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。

＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。

＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住棟評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

	性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	B	C	判定結果 一次	二次
2 火災時の安全に関すること										
火災時の安全	耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外）） □ 該当なし	外壁の構造 軒裏の構造	□ 有	□ 施工図	□ 外壁・軒裏の使用材料	□		□	適・不適	適・不適

＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。

＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。

＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住棟評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

	性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
4 維持管理・更新への配慮に関すること										
維持管理・更新への配慮	維持管理対策等級(共用配管) □ 該当なし	共用配管 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ コンクリート内の埋設配管なし	□		□	適・不適	適・不適
					□ 地中埋設管上でのコンクリート打設なし					
		共用排水管 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 共用立管の掃除口の位置（最上階又は屋上、最下階及び3階以内おきの中間階又は15m以内ごと）	□	□	□		
					□ 共用立管の掃除口の点検措置					
					□ 横主管の掃除口の位置					
					□ 横主管の掃除口の点検措置					
		配管点検口 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図	□ 排水管の主要接合部等の点検措置	□		□		
					□ 給水管の主要接合部等の点検措置					
					□ ガス管の主要接合部等の点検措置					
					□ 給湯管の主要接合部等の点検措置〈共用給湯管がある場合〉					
		共用排水管の性状等 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 内面平滑、かつ、たわみ、抜けその他変形なし	□	□	□		
		横主管 **等級３のみ**	□ 有	□ 施工図	□ 専用部に立ち入らずに到達	□		□		
		配管補修の措置 **等級３のみ**	□ 有	□ 施工図	□ 排水管の設置位置、補修措置	□		□		
					□ 給水管の設置位置、補修措置					
					□ ガス管の設置位置、補修措置					
					□ 給湯管の設置位置、補修措置〈共用給湯管がある場合〉					

＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住棟評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

	性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
4 維持管理・更新への配慮に関すること										
維持管理・更新への配慮	更新対策（共用排水管） ☐ 該当なし	共用排水管 **等級２以上**	☐ 有	☐ 施工図	☐ コンクリート内の埋設配管なし ☐ 地中埋設管上でのコンクリート打設なし	☐		☐	適・不適	適・不適
		横主管 **等級２以上**	☐ 有	☐ 施工図	☐ 専用部に立ち入らずに到達できる経路（仕上材等の軽微な除去による到達可）	☐		☐		
		共用排水管 **等級２以上**	☐ 有	☐ 施工図	☐ 共用排水管の設置位置（仕上材等の軽微な除去による更新可）	☐		☐		
		更新措置 **等級３のみ**	☐ 有	☐ 施工図	☐ 切断工事の軽減措置 ☐ 増設更新するための空間、スリーブ等の確保 ☐ 専用排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 更新のための作業空間の確保	☐		☐		
		共用排水立管の位置 **※等級に係わらず記入**	☐ 有	☐ 施工図	☐ 共用廊下に面する共用部分 ☐ 外壁面, 吹抜等の住戸外周部 ☐ バルコニー ☐ 住戸専用部 ☐ その他	☐		☐		

＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
2 火災時の安全に関すること									
2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	感知警報装置	□　有	□　施工図	□　火災警報設備の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□　感知器の設置場所・種別					
				□　感知器の位置・性能					
				□　警報器の設置場所・性能　**等級2以上**					

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
2 火災時の安全に関すること									
2-2 感知警報装置設置等級（他住戸火災時）	感知警報装置	□ 有	□ 施工図	□ 感知警報システム	□		□	適・不適	適・不適
				□ 警報器の起動方法					
				□ 起動装置設置場所 **等級3・2**					
				□ 警報器の鳴動場所					

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
2 火災時の安全に関すること									
2-3 避難安全対策（他住戸火災時・共用廊下）	排煙形式	□　有	□　施工図	□　共用廊下の排煙形式	□		□	適・不適	適・不適
	平面形状	□　有	□　施工図	□　共用廊下の平面形状	□		□		
	耐火等級	□　有	□　施工図	□　開口部の耐火時間	□		□		

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
2 火災時の安全に関すること									
2-4 脱出対策（火災時）	脱出対策	□ 有	□ 施工図	□ 火災時の脱出対策	□		□	適・不適	適・不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
4 維持管理・更新への配慮に関すること									
4-1 維持管理対策等級 （専用配管）	専用配管 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ コンクリート内の埋設配管なし	□		□	適 ・ 不適	適 ・ 不適
				□ 地中埋設管上でのコンクリート打設なし	□		□		
				□ 他住戸等専用部に設置なし	□		□		
	専用排水管の性状等 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 内面平滑、かつ、たわみ、抜けその他変形なし	□		□		
	専用排水管の清掃措置 **等級３のみ**	□ 有	□ 施工図	□ 掃除口の設置 □ 清掃可能なトラップの設置	□		□		
	点検口 **等級３のみ**	□ 有	□ 施工図	□ 設備機器との接合部の点検措置	□		□		

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること									
5-1 断熱等性能等級	断熱構造 開口部 **等級２以上**	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 断熱材の種類、断熱構造 □ 建具・ガラスの種類 □ 庇・軒・付属部材の状態	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること									
5-2 一次エネルギー消費量等級	居室及び非居室の面積	□ 有	□ □	□ 居室及び非居室の面積	□	□		適・不適	適・不適
	断熱構造 開口部	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 断熱材の種類、断熱構造	□	□	□	適・不適	適・不適
				□ 建具・ガラスの種類					
				□ 庇・軒・付属部材の状態					
	自然風の利用	□ 有	□ □	□ 開口部の位置・種類等	□	□		適・不適	適・不適
	蓄熱の利用	□ 有	□ 工事写真 □ 納品書 □ カタログ □ 梱包材	□ 材料の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 蓄熱部位の範囲	□	□	□		
	暖房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 暖房設備の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 暖房設備の設置位置	□	□	□		
				□ 暖房設備の性能	□		□		
				□ 床暖房の敷設範囲・性能等	□	□	□		
				□ 温水配管の断熱措置（温水式暖房の場合）	□		□		
	冷房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 冷房設備の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 冷房設備の設置位置					
				□ 冷房設備の性能					
	換気設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 換気設備の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 換気設備の設置位置					
				□ 換気設備の性能					
	給湯設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 熱源機の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 熱源機の性能	□		□		
				□ 配管の方式・仕様	□	□	□		
				□ 水栓の仕様	□		□		
				□ 浴槽の仕様(高断熱浴槽の場合)	□		□		
				□ 太陽熱給湯設備の種類	□		□		
				□ 集熱部の仕様	□		□		
				□ 貯湯タンクの容量(ソーラーシステムの場合)	□		□		
	照明設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 照明設備の設置位置	□		□	適・不適	適・不適
				□ 照明機器の種類					
				□ 調光・人感センサー等の仕様					
	発電設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ	□ 太陽電池の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□ 太陽電池アレイの設置方法・位置					
				□ コージェネレーションの種類					

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
6 空気環境に関すること									
6-1 ホルムアルデヒド対策 （内装及び天井裏等）	内装の仕上□ 天井裏等の□ 下地材等	□ 有	□ 建材整理表 □ 工事写真	□ 製材等の有無 □ 特定建材の有無 □ その他の建材の有無 ・内装の仕上 □ 材料の性能区分 □ 材料の使用範囲 ・天井裏等の下地材等 □ 材料の性能区分 □ 材料の使用範囲	□		□	適・不適	適・不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
6 空気環境に関すること									
6-2 換気対策	居室の 換気対策	□ 有	□ 施工図	□ 機械換気設備の仕様 □ 機械換気設備の位置 □ 給排気口の位置等 □ 建具の通気措置	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適
	局所換気対策	□ 有	□ 施工図	便所 □ 機械換気設備の有無 便所 □ 換気できる窓の有無 浴室 □ 機械換気設備の有無 浴室 □ 換気できる窓の有無 台所 □ 機械換気設備の有無 台所 □ 換気できる窓の有無	□		□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
7 光・視環境に関すること									
7-1 単純開口率	単純開口率	□ 有	□ 施工図	□ 開口部の大きさ、位置 □ 居室面積合計	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
7 光・視環境に関すること									
7-2 方位別開口比	方位別 開口比	□ 有	□ 施工図	□ 開口部の大きさ、位置	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-1 重量床衝撃音 対策等級	界床	□ 有	□ 施工図 □ 大臣認定書 □ 工事写真	□ 端部拘束条件 □ 床仕上げ構造 □ 受音室の面積	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工(管理)者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-1 相当スラブ厚	界床	□ 有	□ 施工図 □ 大臣認定書 □ 試験成績書 □ 工事写真	□ 床仕上げ構造	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-2 軽量床衝撃音 対策等級	界床	□　有	□　施工図 □　大臣認定書 □　試験成績書 □　工事写真	□　床仕上げ構造	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目　※	変更の有無※	関連図書　※	確認内容　※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-2 軽量床衝撃音 レベル低減量 (床仕上げ構造)	界床	□　有	□ 施工図 □ 大臣認定書 □ 試験成績書 □ 工事写真	□ 床仕上げ構造	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工(管理)者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-3 透過損失等級 （界壁）	界床の 遮音性能	□ 有	□ 施工図 □ 大臣認定書 □ 工事写真	□ コンセントボックス等 □ ＧＬ工法なし □ 建築基準法第30条の規定に適合	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法			判定結果	
					A	B	C	一次	二次
8 音環境に関すること									
8-4 透過損失等級 （外壁開口部）	開口部の 遮音性能	□ 有	□ 施工図 □ 大臣認定書 □ 試験成績書 □ 工事写真	□ 開口部の遮音性能 □ 開口部設置状況	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
9 高齢者等への配慮に関すること									
9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）	部屋の配置	□ 有	□ 施工図	□ 特定寝室と同一階にある部屋 等級2以上 □ ホームエレベーター利用可 等級4以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	段差	□ 有	□ 施工図	□ 沓ずりと玄関外側の段差 等級2以上 □ 沓ずりと玄関土間の段差 等級2以上 □ 浴室出入口の段差 等級2以上 □ バルコニー出入口の段差 等級2以上 □ 畳コーナーの高さ・間口・面積 等級2以上 □ その他の段差 等級2以上 □ 上がり框の段差 等級4以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	住戸内階段 □ 該当なし	□ 有	□ 施工図	□ 令第23～27条の基準に適合 等級1以上 □ 勾配等（けあげ、踏面寸法） 等級2以上 □ 蹴込み寸法と蹴込み板 等級2以上 □ 階段の形式等（形状、滑り止、段鼻の出） 等級2以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	手摺	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 階段の手摺 等級2以上 □ 便所の手摺 等級2以上 □ 浴室の手摺（出入口、浴槽、姿勢） 等級2以上 □ 玄関の手摺(下地) 等級2以上 □ 脱衣室の手摺（下地） 等級2以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	転落防止のための手摺	□ 有	□ 施工図 □ 工事写真	□ 第126条第1項の基準に適合 等級1以上 □ バルコニーの転落防止手摺 等級2以上 □ 2階以上の窓の転落防止手摺 等級2以上 □ 廊下・階段の転落防止手摺 等級2以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	通路及び出入口の幅員	□ 有	□ 施工図	□ 通路の幅員 等級3以上 □ 玄関出入口の幅員 等級3以上 □ 浴室出入口の幅員 等級3以上 □ その他の出入口の幅員 等級3以上	□	□	□	適・不適	適・不適
	寝室、便所及び浴室の寸法等	□ 有	□ 施工図	□ 特定寝室の広さ 等級3以上 □ 便所の介助スペースの状態 等級3以上 □ 腰掛け式 等級3以上 □ 浴室の広さ 等級3以上	□	□	□	適・不適	適・不適

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※	変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
9 高齢者等への配慮に関すること									
9-2 高齢者等配慮対策等級 （共用部分） 該当なし	共用廊下	□ 有	□ 施工図	□ 令第119条･第126条第1項の基準に適合 等級1以上	□	□	□	適・不適	適・不適
				□ 歩行補助手摺設置（高さ700㎜～900㎜） 等級2以上					
				□ 開放廊下の転落防止手すり設置（手摺子がある場合は内法110㎜以下） 等級2以上					
				□ 経路上の段差無し 等級2以上					
				□ 経路上の高低差無し（高低差がある場合には勾配、段について基準に適合） 等級2以上					
				□ 有効幅員1400㎜以上 等級5					
	共用階段	□ 有	□ 施工図	□ 令第23～27条･第126条第1項の基準に適合 等級1以上	□	□	□	適・不適	適・不適
				□ 勾配等（けあげ、踏面寸法） 等級2以上					
				□ エレベーター利用可能 等級2～3					
				□ 蹴込み寸法と蹴込み板 等級2以上					
				□ エレベーター利用可能 等級2～3					
				□ 階段の形式等（形状、滑り止め、段鼻の出） 等級2以上					
				□ 歩行補助手摺設置（高さ700㎜～900㎜） 等級2以上					
				□ 外部階段の転落防止手すり設置（手摺子がある場合は内法110㎜以下） 等級2以上					
	エレベーター	□ 有	□ 施工図	エレベーター利用 等級3以上	□	□	□	適・不適	適・不適
				出入口幅800㎜以上 等級3以上					
				ｴﾚﾍﾞｰﾀｰﾎｰﾙ1500㎜角以上 等級3以上					
				建物出入口からエレベーターホールまでの経路（幅、手すり、傾斜路、段差） 等級3以上					
				かご奥行寸法内法1350㎜以上 等級4以上					

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施工状況報告書【竣工時】

検査方法ーA：実物の目視　B：実物の計測　C：施工関連図書の確認

住戸評価用　　**※の欄を施工（管理）者が記入のこと**

性能表示事項 ※	検査項目 ※		変更の有無※	関連図書 ※	確認内容 ※	検査方法 A	検査方法 B	検査方法 C	判定結果 一次	判定結果 二次
10 防犯に関すること										
10-1 開口部の 侵入防止対策	開口部の区分 a、b、b(i)、b(ii)、c		□ 有	□ 施工図	□ 開口部の位置	□	□	□	適 ・ 不適	適 ・ 不適
	〔区分：a〕 住戸の出入口 すべて侵入防止対策上有効な開口部		□ 有	□ 施工図	□ 戸、ガラス、錠の性能、仕様、施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
	〔区分：b〕 外部からの接近が比較的容易な開口部（共用廊下又は共用階段若しくはバルコニー等） すべて侵入防止対策上有効な開口部	開閉機構あり	□ 有	□ 施工図	□ サッシ、ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 戸、ガラス、錠の性能、仕様、施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		開閉機構なし	□ 有	□ 施工図	□ ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
	〔区分：b(i)〕 外部からの接近が比較的容易な開口部（共用廊下又は共用階段） すべて侵入防止対策上有効な開口部	開閉機構あり	□ 有	□ 施工図	□ サッシ、ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 戸、ガラス、錠の性能、仕様、施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		開閉機構なし	□ 有	□ 施工図	□ ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
	〔区分：b(ii)〕 外部からの接近が比較的容易な開口部（バルコニー等） すべて侵入防止対策上有効な開口部	開閉機構あり	□ 有	□ 施工図	□ サッシ、ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 戸、ガラス、錠の性能、仕様、施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		開閉機構なし	□ 有	□ 施工図	□ ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
	〔区分：c〕 その他の開口部 すべて侵入防止対策上有効な開口部	開閉機構あり	□ 有	□ 施工図	□ サッシ、ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 戸、ガラス、錠の性能、仕様、施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		開閉機構なし	□ 有	□ 施工図	□ ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□ 雨戸等の性能・施工状態	□		□		

＊ 各評価事項において等級の異なる住戸がある場合は、包括して高い等級の住戸にて記載する。
＊ 等級、表示事項については「設計住宅性能評価一覧表」を参照する。
＊ 変更の「有」にチェックした場合は変更申告書を提出する。
＊ 判定結果が不適の場合の指摘事項は建設住宅性能評価 検査記録書による。

施 工 状 況 報 告 書【特定測定物質の測定】

6 空気環境に関すること

建物名称	

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項	測 定 記 録 欄				
	項　　目	採 取 条 件 等 ※			
6-3 特定測定物質の濃度等	内装工事完了日	年　月　日（造付け家具の取付けその他これに類する工事を含む）			
	開口部開放日時	年　月　日	時　分	□全ての窓及び扉（造付家具、押入れその他これらに類するものの扉を含む）を30分開放	
	開口部閉鎖日時	年　月　日	時　分		
	居室の閉鎖及び維持	□ 上記の後、外気に面する窓及び扉を5時間以上閉鎖			
	24時間換気設備の運転状況	□ 稼動 □ 否稼動 □ 無し		□ 24時間換気設備付属の給排気口の開放	
		運転状況：			
	冷暖房設備の運転状況	□ 稼動 □ 否稼動 □ 無し		設定温度　℃	
		運転状況：			

性能表示事項	測 定 記 録 欄					
	項　　目	採 取 条 件 及び 濃 度 等				
6-3 特定測定物質の濃度等	採取開始日時・天候	年　月　日	時　分	天候（　　）		
	採取終了日時・天候	年　月　日	時　分	天候（　　）		
	採取した居室の名称					
	居室選定条件	□ 測定の対象となる特定測定物質の濃度が相対的に高くなることが見込まれる居室において行われている（日照が多い等）				
		□ その他：				
	評価員の氏名					
	測定器具の名称	□ パッシブ測定器方式（バッジ式）　□ その他				
	採取中の室温・湿度	採取中の □ 室温　□ 平均室温		℃		
		採取中の □ 相対湿度 □ 平均相対湿度		%		
	採取中の開口部の状況	□ 外気に面する窓及び扉を閉鎖				
	採取中の日照の状況等					
	24時間連続運転の、全般換気のための設備	□ 品確法の全般換気設備　□ 品確法外の全般換気設備　□ 全般換気設備無し				
		□ 稼動　□ 否稼動	全般換気設備に係る給排気口の	□ 開放　□ 閉鎖		
		運転状況：				
	冷暖房設備の運転状況	□ 稼動 □ 否稼動 □ 無し		設定温度　℃		
		運転状況：				
	採取位置	□ 当該居室の中央付近				
		□ 床からの高さ 1.2～1.5m				
	特定化学物質の名称及び濃度	特定測定物質の名称		特定化学物質の濃度（ppm）		
				最高値	最低値	
		必須	■ ホルムアルデヒド			
		選択（測定の対象となるもの）	□ トルエン			
			□ キシレン			
			□ エチルベンゼン			
			□ スチレン			
	分析した者の氏名又は名称					
	その他特定化学物質の濃度に関する特徴的な条件					